

別紙様式2

令和4年度 県立玉造工業高等学校自己評価表

目指す 学校像	- 至誠・勤勉・協和の校訓を基本に、現代社会における工業の果たす役割を理解させ、適切な技能、技術を習得させる。 - すぐれた個性の伸長と豊かな人間性の育成に努める。 - 社会の発展に寄与する産業人の育成を図る。			
昨年度の成果と課題		重点項目	重点目標	達成状況
・ICTの活用については、オンライン学習の後押しもあり、大幅に前進した。この前進をさらに大きく躍進させるために、教科間の連携や情報共有、研修の機会などを多く設けていきたい。 ・新型コロナウイルスの影響が続く中、本年度も広報活動を充実させることができなかった。出前授業や放課後子供教室などの実施ができない分、学校HPでの配信などを充実させていきたい。 ・玉工通信の発行ができないでしまった。発行時期と発行責任者を係の中で決めて年間計画を立て、定期的な発行を目指したい。学校パンフレットについては予算もあり、業者担当者との兼ね合いもあるが、充実したパンフレットにするために内容の検討をしたい。 ・情報機器を誰でも利用できるように簡易な研修内容を取り入れる。 ・募集減が更なる定員割れに繋がることも懸念される。玉工の魅力度をアップするために、従来の広報活動を一から見直す必要もある。 ・規範意識の向上を図るため、保護者・地域の方々と連携を図り学校教育活動全般を対象に生徒の規範意識の向上に努めた。継続した指導が求められるため今後も規範意識の向上に努める。 ・各個人の判断力が求められる時代になってきた。時代の流れに即した服装頭髪検査を実施出来るようPTA役員・生徒会役員にアンケートを行った。それらの回答を参考にしながら職員間での統一を図るとともに、生徒1人ひとりの確かな判断力が身に付くような指導を服装頭髪検査のみならず学校教育活動全体を通して指導出来るよう努める。 ・新型コロナウイルス感染症の対応を図りながら、対面とオンラインを上手に活用した進路指導を進めていく。 ・進路行事の内容や実施方法等には、生徒の希望や状況把握に努め、より柔軟な考え方と対応に心掛ける。 ・3学年の進路決定を見据えて、1・2学年での指導内容や方法等を各学年とともに検討し最適化を図っていく。 ・ハローワークや外部関係機関との連携を強化し、新たな情報や必要な知識を生徒・保護者に伝えていく。 ・進学希望者に対してより充実した課外を目指す。 ・進路関連の図書を新しくする。 ・学級減にともない清掃の徹底が厳しい状況であるが、衛生的な生活環境の維持をめざす。 ・市と協力し、地域住民と連携した避難訓練の実施を検討する。 ・地区組織の改正。PTA会則、後援会会則の変更。全校生徒の賠償責任制度の加入。チャーターバス料金の回収率や滞納生徒への対応 ・今年度は新型コロナウイルス感染防止を行いながら、文化祭を実施することができた。来年度も行い方を工夫し、できる限り行事を実行できるようにしていきたい。 ・学校HPを活用した情報発信については、まだ改善の余地がある。来年度は、さらに本校の部活動や行事について情報を発信し、地域住民に応援されるような学校運営をしていきたい。		分かる授業を展開し、基礎学力の向上を図る。	① 生徒の実態に応じ、学習内容を精選して基礎学力の向上を図る。	B
			② 各教科内で研修を充実させ、分かる授業の展開と教科間の連携を図る。	B
			③ 学習規律の向上を目指すとともに、習熟度別授業の充実を図る。	B
			④ 生徒の主体的に学ぶ意識を育むため、家庭学習の定着化を図る。	B
			⑤ 資格取得指導の充実を図る。	B
			⑥ 進学希望者へ適切な指導を計画実施する。	A
			⑦ タブレット端末を活用した授業の開発を推進する。	B
基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図るとともに、交通安全教育の推進に努める。		望ましい勤労観や職業観の育成に努める。	⑧ 挨拶の励行と欠席・遅刻・早退の減少に努める。	A
			⑨ 髪型や服装等を正そうとする意識を身につけさせる。	A
			⑩ 社会人として必要な公共のマナーを身につけさせる。	A
			⑪ 保護者や関係機関との連携を密にとり、生徒の安全確保に努める。	B
			⑫ 交通安全教育を推進し、交通安全に対する意識の向上を図る。	B
			⑬ 全学年を通じ、計画的に進路に対する意識向上を図り、希望進路の実現を図る。	A
			⑭ 企業見学やインターンシップを実施、また外部講師による講話、キャリアパスポートの活用などキャリア教育の充実を図る。	A
学校行事の充実ならびに、部活動及び奉仕体験活動の活発化を図る。		中学校や地域と連携を図り、開かれた学校づくりに努める。	⑮ 企業及び大学等の情報を広く収集し、進路選択に役立たせる。	A
			⑯ 学校行事を通して生徒、保護者、地域との交流を図り、より充実感や達成感のあるものにする。	A
			⑰ 部活動加入率を高め、活性化を図る。	B
			⑱ 奉仕体験活動を充実させる。	D
			⑲ 生徒の委員会活動を活発にする。	A
			⑳ キャリアパスポートの活用により、自発的・自主的な学校行事への参加を促す。	A
			㉑ 近隣中学校並びに地域への広報活動を充実させる。	A
安全で衛生的な環境作りを目指し、心身ともに健やかに学校生活を送れるように努める。		校務の改善、学校行事の見直しに努める。	㉒ 小中学校への出前授業を行う。	A
			㉓ 行事を本校及び教育委員会のホームページ上で発信する。	B
			㉔ 生徒・保護者及び教職員の相互の信頼関係を深める。	A
			㉕ 個人情報保護、管理の徹底に努める。	B
			㉖ 心と体の健康に留意し、健全な生活を送れるような体制作りに努める。	B
			㉗ 安全で衛生的な環境作りに努める。	A
			㉘ 不測の事態に備え、防災意識を高める。	B
			㉙ 校務のマニュアルの作成及び内容の明確化を図る。	B
			㉚ 学校行事の簡素化など見直しを行う。	A
			㉛ 会議の効率化を図る。	B
			㉜ 勤務時間に対する意識を高め、時間外勤務の短縮に努める。	B

※評価基準 A：十分達成できている、 B：達成できている、 C：概ね達成できている、 D：不十分である、 E：できていない

三つの方針		具体的目標
「三つの方針」 (スクール・ポリシー)	「育成を目指す資質・能力に関する方針」 (グラデュエーション・ポリシー)	○ 知識や技術、豊かな心と協調性を身につけた規律ある工業人の育成 ○ 意欲を持って学習や資格取得、学校生活に取り組み、地域社会で活躍できる工業人の育成
	「教育課程の編成及び実施に関する方針」 (カリキュラム・ポリシー)	○ 地域社会で活躍できる工業人として必要となる基礎的な知識・技術を身につけさせる ○ 学習活動や特別活動、部活動を通して、地域社会で活躍できる工業人として必要な人間力や規範意識の育成 ○ 工業人としての知識・技術の向上を目指し、資格取得や競技会等へ積極的に取り組む ○ 卒業後の進路を考慮した計画的な進路指導の実現
	「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	○ 工業に興味を持ち、学業などに積極的に取り組み、ものづくりや資格取得に目的意識を持って取り組む意欲のある生徒 ○ あいさつができ、教員や友人の話を素直に聞くことができる生徒 ○ 規律の意義を理解し、互いの人権を尊重し、学校や社会のルールを守ることができる生徒 ○ 自分の進路実現を目指し、日々努力する生徒

評価項目		具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価		次年度（学期）への主な課題	
教科指導（普通教科）	国語	適切に言葉を用いて、自分の意見を表現する知識を身につける。漢字や慣用句などの知識を獲得し、実際にそれらを用いて表現する。	文章を書いたり発表したりする体験を通して、言葉や表現に関する知識を獲得する。	①	B	B	・自分の考えをまとめる活動は積極的にこなうことで、授業で学んだ知識を生かして文章を書くことができた。次年度は、より発展させ、発表する活動もおこないたい。 ・映像資料の活用はできたが、ICTをより効果的に活用できるよう努めたい。 ・定期的に漢字の小テストをおこなうことで、勉強する習慣をつけることができた。次年度は、獲得した漢字の知識をいかし、漢字能力検定にも取り組ませたい。
			I C Tを活用し、新聞や映像といった教科書に依らない資料を積極的に用いる。	②⑦	B		
			毎時間漢字ワークに取り組む時間を設定し、定期的小テストを行う。	③	A		
	地歴・公民	基礎学力・学習意欲の向上を図るとともに、考える力・表現する力・メディアリテラシーを養う。社会の事象を主体的に理解し、公正・公平に判断する力を養う。	タブレットや電子黒板から映像資料を見せたり、Google Formから小テストなどを実施し学習内容の理解を深めさせる。	⑦	A	A	・新しい教科書になるので、指導内容についての打ち合わせを密に行う。 ・学習活動に集中できるよう、タブレット使用時のルールを生徒に提示する。 ・生徒同士の活動を取り入れる。
			指導内容・方法についての打ち合わせを定期的に行い、共通理解を図る。	②	B		
			生徒の身近にある問題を取り上げるなど、学習内容を生徒の生活や他教科との既習事項と結びつけることで、学習意欲の向上を図る。	①②	A		
	数学	基礎学力の向上を図り、習熟度別授業の充実を図る。	複数教員の指導により生徒の理解度を把握し、板書を工夫し、基礎学力の向上を図る。	①③	A	B	・年々基礎学力が低下しているため、さらなる指導の工夫が必要である。 ・ICTを用いた教材を共有する。 ・効果的な課題を作成する。
			ICT機器を活用した課題を定期的に配布し、家庭学習をする意欲や習慣を身に付けられるようにする。	④⑦	B		
			課外授業を活用して、進学希望者の学力向上及び数学検定の取得に努める。	⑤⑥	B		
			指導内容・ICT活用方法についての打ち合わせを定期的に行い、共通理解を図る。	②	B		
	理科	身のまわりの事物・事象と関連を図りながら、基礎学力の定着と学習意欲の向上に努め、習熟度に応じて発展的な内容の授業を行う。	学習の導入に視聴覚教材を効果的に活用し、生徒の興味・関心を高める。	①	B	B	学習の導入に視聴覚教材を活用している単元もあるが、すべての単元で視聴覚教材を取り入れることができていない。次年度以降、生徒の興味・関心を高める魅力的な導入を充実させる。問題演習や小テストなど生徒がじっくりと考える時間を設けることはできているが、習得まで理解を深めるように内容や進め方を工夫していく。
			問題演習や小テスト等の時間を確保し、学習内容を確実に定着させる。	①④	B		
			指導方針や指導内容等について定期的に話し合いを行い、担当者間で共通理解を図るとともに、指導力の向上に努める。	②⑦	A		
	保健体育	課題設定を工夫し、基礎体力の向上を図る。服装や整列等の規律を徹底する。	生徒の実態に合わせた技能の到達目標の作成。到達目標に向けた、スモールステップを意識した課題設定。	①②	B	A	・到達目標に向けた各種目における具体的で段階的な課題への取り組み。また、課題の見直し ・1年生の時間数を配慮した種目数の精選。
			集団で学ぶ意義を意識した集団行動の授業の推進。規律の意義を理解させるための、各種目における試合の時間を設定。	③⑨⑩	A		
	書道	書の良さや表現方法など創造的活動を通して理解する。	生徒の実態に合った題材を選択し、文字の美しさや作品を見る力の育成を図る。	①	B	B	幅広い題材、素材で創作意欲を高める。
	英語	学力向上に努め、対話から深く学ぼうとする態度を養う。	T.T.と少人数制で各個人のレベルにあった授業を行い、アクティブ・ラーニングを実践し、生徒の主体的・協働的活動の活性化を図る。	①③④	B	B	・生徒自ら英語学習に取り組み、協同的に授業を楽しむことを目指す。 ・英検の勉強が就職と進学に役立つことを熟知させ、受験への取り組みを促す。 ・ALTとの活動を通して、異文化に親しめるよう努める。
			4技能（「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」）を積極的に伸ばし、能力に適合した資格の取得促進に努める。	⑤⑥⑦	B		
			遊びの要素を取り入れ、交流活動を通して異文化を学び、多文化共生社会で生きる態度を身につけさせる。	②⑩⑭	B		
	家庭	家庭生活に関する基礎的な知識・技能向上のための指導に努める。	プリントによる授業を展開し毎回点検することで生徒の実態把握に努め、学習内容の精選を図る。	①	B	A	・家庭科はR5年度から新教育課程になり、授業内容だけでなく評価の観点も3観点となるため、評価と連動した指導の在り方を検討する。 ・主体的な取り組みを促すために、生徒の発表の場を適切にもうけるよう努める。
			生徒が主体的に取り組めるように、思考ツールや電子黒板、タブレットを活用した授業の開発に努める。	⑦	A		
			調理室や被服室の整備を行うとともに、学年の先生方の協力を仰ぎ、安全で衛生的な環境で実習が行えるような体制作りに努める。	⑳	A		

※評価基準 A：十分達成できている， B：達成できている， C：概ね達成できている， D：不十分である， E：できていない

教科指導（専門教科・工業）	機械	基礎学力の向上，知識・技術・技能の効率的な指導を図る。	実習内容の精選および改善等に継続的に取り組み，生徒に3年間で身につけさせる能力（技術・技能等）をより明確にする。	①②⑩	B	B	今年度は各種の資格取得や技能競技会等で昨年度の実績を上回る結果を出すことはできなかったが，次年度においても引き続きこれらの取り組みを継続し，一人でも多くの生徒に資格取得の指導ができる体制の更なる強化を図るとともに，常日頃から各自が実習や授業内容の教材研究に取り組み，3年間で生徒に身につけさせる生活習慣や技術・技能をより明確にしていくことをめざす。
			生徒に自己評価をさせることによって，生徒自身の意識を向上させるとともに，一人一人の実態の把握に努め，授業の充実を図る。	③④	B		
			資格取得等の目標を持たせることにより，その達成への前向きな姿勢を定着させるとともに，学習意欲を高める。また，技能検定（旋盤，検査）やものづくりコンテスト等の指導体制の充実を図る。さらにICT教育の効果的な授業での活用について検討し，その実践に努める。	④⑤⑦	B		
	機械・エネルギー	基礎・基本的な知識および技術の習得に向けて，わかる授業を展開する。 エネルギーに関する学習内容の充実を図る。	基礎・基本的な知識および技術の習得ができる実験・実習内容を精選し，新教育課程を検討をする。	①⑤⑥⑦	A	A	
			エネルギーに関する内容について学科内で研修を充実させる。座学と実験・実習の連携から，わかる授業を展開する。	②⑤⑥⑦	B		
			デュアルシステムや高大連携を実施し，企業および大学との連携を図る。キャリア教育の充実を図り，生徒の学習意欲向上に努める。	⑩⑭⑮	A		
	電気	電気に関する基礎的・基本的な知識・技術の習得に向けて効率的な指導を図り，第二種電気工事士をはじめとした資格取得の指導の充実に努める。	電気に関する基礎的基本的な知識について教科内で意識を共有し，授業内容を精選し，基礎学力の向上を図る。また，ICTを活用し，指導体制の充実を図る。	①⑦	A	A	
			基礎的基本的な知識・技術の習得が図れるような実習の指導体制の構築及び座学の内容を見直し，実習・座学間の連携を図る。	①②	B		
			第二種電気工事士及び第一種電気工事士の資格取得のための指導体制の充実を図る。また，資格取得を通して主体的に学ぶ意識の向上，家庭学習の定着を図る。	④⑤	A		
	情報技術	基礎学力の向上，知識・技術・技能の効率的指導，資格取得の効率的指導に努める。	教科内で教職員の共通理解のもと，授業内容を精選し，卒業までに身につけさせたい能力と基礎的学力の確実な定着を目指す。	①②	B	B	
			教科内で教職員研修の実施や指導書の充実を図り，授業および資格指導の指導力向上を目指す。	①②	B		
			技能士「電子機器組立」「電気機器組立」等，資格試験指導を充実させ，合格者の安定および確保を図る。	①②⑤	B		
教務	基礎学力の向上を図る。	基礎学力の向上や資格取得に対する意欲を育むために，朝の学習の時間の確保に努める。 数学、英語、理科と連携を図り，習熟の程度に応じた指導体制の工夫と改善を図る。	④⑤	B	B	・ホームページの全体的な構成や掲載内容について精査し，必要に応じて見直しを行うなど，ホームページによる情報発信を高次化する。 ・ICTの研修を幅広い先生方にご参加いただき，ICT機器の利用に対しハードルを低くする。ICTの推進委員会の先生方のみが研修に参加して，他の先生が研修にあまり参加していなかったため。 ・教育課程については，来年度新たな取り組みとして学校設定科目を第1学年に組み込むことができた。しかしながら，総合的な探究の時間の代替や学校設定科目の運営についてはまだまだ審議が必要であると考ええる。来年度以降も各教科と連携を図り検討していきたい。 ・新型コロナウイルスの影響が続く中ではあるが，玉工通信や玉メール等の定期的な情報発信を含め本年度は広報活動を充実させることができた。来年度以降も充実を図る。 ・校内のネットワークの環境整備や，教室のWi-Fi環境，学習用端末などの整備については，係を中心に迅速に対応することができたが，まだまだ十分とは言えない部分が多くある。今後の計画をもとに，さらに教職員が利用しやすい環境を整えていきたい。 ・小学生低学年レベルの学習が定着していない。来年度から導入されるオンライン学習ソフトを朝学習や学校設定科目と連携し，卒業までには身につけさせられるよう計画的に取り組んでいきたい。	
			②③	B			
	教育課程の編成と運営に努める。	各教科と連携を図り，教科の特性や生徒の実態に応じた新教育課程の検討を行う。 教育課程を適切に実施するために，授業時間の確保と調整を行う。	②	B	B		
			①	A			
	校内研修の充実を図る。	ICT、特にタブレットPCの授業活用ならびに教材開発などの研修を行い，教員の情報機器を活用した授業の推進に努める。 校内の公開授業を行い，授業力の向上に努める。 校内研修の充実を図るとともに，各種会議の効率化を図る。	②⑦	B	B		
			②③	B			
			③⑫	B			
	広報活動の充実を図る。	玉工通信の定期的な発行と学校パンフレットを充実させ小中学校へ配付する。また地域と連携した出前授業を行うなど，広報活動に努める。 中学生や保護者，地域の方を対象とした学校公開を行い，開かれた学校づくりに努める。 学校Webページを特活部と連携し内容を充実させ，学校の特色や魅力を伝える情報発信に努める。 「玉メール」を活用し，生徒と保護者へ連絡や情報発信に努める。	⑫⑫	A	A		
			⑬⑫	A			
			⑫	B			
	教育情報に関するネットワークの整理と管理に努める。	校内システムとデータを整理し，教職員が利用しやすい環境を整える。 教育情報ネットワークの活用と，セキュリティの強化及び個人情報の保護に努める。	⑫⑫	B	B		
			⑫	B			
生徒指導	基本的生活習慣の育成・確立を図る。	挨拶の励行や遅刻・早退・欠席の減少に努める。 服装，頭髪に対する意識向上指導に努める。	⑧	A	B	時代の変化に即した形になるよう努力を重ねているなかで，指導方針の共通理解を図りながら進路実現に向けた取り組みとなるよう学年集会等を積極的に活用し，地域の産業界から求められる人材となる工業人として身に付けておきたい安全意識・規範意識を学校の教育活動全体を通して，また保護者をはじめ地域の方々や連携・協力し今まで以上に向上させていきたい。	
			⑨	B			
	規範意識の育成を図る。	社会人として必要なマナーやモラル習得に努め，規範意識の向上を図る。 保護者や関係機関との連携を図り，生徒の規範意識向上と安全確保を図る。	⑩	C	B		
			⑪	B			
	安全教育の推進に努める。	交通安全教育を推進し，安全への意識向上を図る。	⑫	B	B		

※評価基準 A：十分達成できている， B：達成できている， C：概ね達成できている， D：不十分である， E：できていない

進路指導	職業選択能力の早期育成を目指す。	能力に応じた進路目標を早期に持たせることにより、就業意欲の向上を図る。	⑬	B	B	生徒の進路実現のためハローワークや外部関係機関と連携を図り、ガイダンスや進路講話、企業説明会などを実施することで、卒業後の進路に対する意識づけを行い、生徒が早期に進路目標を立てられるように支援する。またICTを活用した新しい求人システムへの完全移行のため、関係企業と協力してシステム機能の向上、効率化を目指し、より多くの情報を生徒に提供できるように努めつつ、各学年や担任との情報交換を密に行い組織的な進路指導を行う。
		職業安定所職員等の外部講師を招き、話を実施する。	⑭	A		
		早期の企業見学、応募前企業見学、インターンシップを実施する。	⑭	B		
	組織的な進路指導を行う。	企業等と連携においてICTの積極的な活用を図り、より多くの情報を収集するとともに求人数の確保に努める。	⑮	A	B	
		進学希望者に必要な学習情報を提供するとともに、適切な支援を実施する。	⑮	B		
		面談等で自分の考えや意見を伝える練習を行うことにより、コミュニケーション能力の育成を図る。	⑬	B		
学習指導	基礎学力の向上に努める。	授業内容を精選し基礎学力の定着を目指す。朝の学習・読書の時間を有効に活用する。	①	A	B	※次年度学習指導部は廃止・統合の為記述無し。
		長期休業中に宿題を出し、確認テストを行う。	①	C		
	資格取得指導及び進学指導を充実させる。	課外授業ならびに資格取得講座を積極的に生徒にアピールし、放課後の時間を有効活用できるようにする。	⑤	A	A	
		進学希望者に対して大学等の情報を発信し、より充実した課外授業を目指す。	⑥	A		
		長期休業中に集中講座を実施する。	⑥⑩	A		
	図書館の利用を促進する。	魅力ある図書館作りを工夫する。読書ばかりではなく学習の場としての図書館もアピールする。	①	A	A	
		生徒向け図書を増やし、図書の貸し出し数増加を目指す。また、進路関連の図書を新しくする。	①	A		
	保健厚生	安全で衛生的な環境を作る。	安全で快適な学校生活を送れるようにする為、月末に環境安全点検を確実に行う。また、修繕箇所の把握と速やかな修繕に努める。	⑦	A	
清潔で快適な校内環境を保つために清掃の徹底を図る。また、各種施設利用のマナーの定着・習慣化を確実なものとする。			⑦	B		
特別支援体制の確立と、教育相談を更に充実させる。		特別支援の年間計画と校内体制の確立する。また、支援を要する生徒に対して校外協力機関と連携し適切な支援に努める。	⑥	B	B	
災害対応マニュアルの見直しと、防災意識を喚起する。		各種災害に備えた防災マニュアルの整備と見直しを行う。また、防災意識向上に努め、将来の地域防災の担い手として育成する。	⑧⑨	B	B	
渉外	PTA活動を活発にする。	学校行事を通して生徒、保護者、地域との交流を図り、より充実感や達成感のあるものにする。	⑬	A	A	コロナ禍で一時は活動が縮小されていたが、本年度より徐々に感染症対策を取りながらの活動が再開してきている。次年度はさらに活動の場が広がると予想されるので、保護者や地域の方と連携・協力をしながら社会人として必要な公共マナーを身に付けさせていきたい。
		生徒・保護者及び教職員の相互の信頼関係を深める。	⑭	A		
	チャーターバスの安全運行の継続に努める。	保護者や関係機関との連携を密にとり、生徒の安全確保に努める。	⑪	A	A	
	生徒の校内外での安全確保に努める。	社会人として必要な公共のマナーを身につけさせる。	⑩	A		
特別活動	学校行事を充実させる。	新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら行い方を工夫し様々な行事を実行する。また、学校行事への自発的・自主的な取組を促すため、キャリアパスポートを活用させる。	⑬⑭	A	A	・新型コロナウイルス感染防止対策しながら、奉仕活動や地域交流事業を行う。 ・学校HPやSNSを利用した広報活動をより積極的に行う。 ・部活動加入率と継続率を向上させる。
	部活動を活性化させる。	新入生の部活動加入率を向上させ部活動の活性化を図る。また、定期的に部活動顧問会議を開催し、情報交換を図り部活動の継続率を上げる。	⑰	B	B	
	奉仕活動を充実させる。	ボランティア活動を積極的に奨励し、地域の各種ボランティア行事への積極的な参加を図る。	⑱	D	D	
	広報活動を充実させる。	学校HPを活用した学校行事や部活動の情報発信を積極的に行う。また、本校主催の地域交流事業を継続し、地域住民との積極的な交流を図る。	⑬⑭	C	C	
	生徒会活動を活発にする。	学校行事を生徒会役員や委員会が主体となって運営できるよう、委員会集会を定期的に開催し学校行事の円滑な運営を行えるようにする。	⑰	A	A	

※評価基準 A：十分達成できている， B：達成できている， C：概ね達成できている， D：不十分である， E：できていない

学年	第1学年	基礎学力の向上を目指す。	教科間で連携を図り、生徒の実態把握に努める。その上で、タブレット端末を有効活用し、学習意欲の定着・向上、主体的な学習態度を育成する。	①②⑦	A	B	<基礎学力の向上を目指す> ・基礎学力の定着・基礎学力の定着を図れる課題（朝学・家庭学習）を科目担当者に依頼し、効果的なものを与えていきたい。 ・学力不振者の基礎学力向上のサポートを継続的に実施していきたい。 ・積極的なタブレット端末の使用を継続して行っていきたい。		
			積極的な授業への取り組みを促し、基礎・基本を定着させる。さらに課題等を課すことで家庭学習の定着を図る。	④	B				
			資格取得、課外授業、部活動加入等への積極的・継続的に参加する姿勢を育成する。	⑤⑰	B				
		基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る。	家庭との連絡を密に取り、生活状況を把握し、欠席・遅刻・早退の防止に努める。	⑧⑪	A	A		<基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る> ・道徳、LHRを活用し生徒が発言できる場所を準備し、言語化能力やコミュニケーション力を育成することが必要である。 ・生徒とよくコミュニケーションをとり、挨拶や返事などの基本的な部分を育てていきたい。	
			頭髮服装検査、校内巡視を定期的に実施し、高校生らしい身なりやマナーを身につけさせ、規範意識を向上させる。	⑨	A				
			部活動や学校行事を通して、協調性や社会性の向上を図る。また、学校教育の中に情報教育を取り入れ、SNSでのトラブル防止、情報モラルの育成を図る。	⑩⑬⑰	B				
		進路目標の早期明確化を目指す。	面談等を通して進路に対する関心を高めるとともに、社会人として必要なマナーを向上させる。	⑩⑬	B	B			<進路目標の早期明確化を目指す> ・資格は何につながっているかを理解させていきたい。
			進路ガイダンス等を実施し、個々の適性を見出す機会を設ける。	⑬	A				
			キャリアパスポートを活用し、進路に対する総合的な探求の時間の充実を図り、会社・学校見学を実施するなどキャリア教育の充実を図る。	⑭⑮	B				
	第2学年	基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る	服装頭髪検査と校内巡視を通して身だしなみやマナーを身につけさせ規範意識の徹底を図る。	⑨	B	B	○希望進路の実現に向けての準備 ・生活指導の徹底（基本的生活習慣、コミュニケーション力、身なり等）を図る ・「handy進路指導室」の有効活用を図る ・資格取得を目指し意欲的に努力できる生徒を増やす ・計画的に面接指導、履歴書指導を取り入れる ○基礎学力の向上 ・朝学習においてSPIの問題を取り入れるなど、就職試験に向けてより効果的な時間になるように工夫する ・すらら導入に伴いタブレットの活用を進める ・調査後の振り返りの際に、次の目標設定とともに学習計画を立て実行させるよう努める ○規範意識の向上 ・情報モラルについての意識を高めることができるような機会を設定する		
			学校教育の中に情報教育を取り入れ、SNSでのトラブル防止、情報モラルの育成を図る。	⑩⑮	B				
			家庭との連携を密にし、生活状況を把握し、遅刻・欠席・早退の減少に努める。	⑧⑪⑭⑰	B				
			部活動や学校行事を通して協調性や社会性の向上を図り、充実感や達成感が得られる学校生活とする。	⑩⑰	A				
		基礎学力の向上を図る	毎日10分程度の課題に取組ませ自ら問題を解くことで、基礎・基本の定着と学習の習慣化を図る。	④	B	B			
			授業においてICT機器を積極的に活用し、学ぶ意欲の向上と定着を図る。	⑦	B				
			資格取得の案内や補講、課外などから意欲的な資格取得を目指す生徒を育成する。	⑤	B				
			考查ごとにキャリアパスポートを活用し、振り返りの充実を図り、次回に向けての目標設定を行うことで学力向上につなげる。	①	C				
		進路目標の早期明確化及び意識の向上を図る	進路ガイダンスを実施し、上級学校や企業見学等への積極的な参加を呼びかけ、進路に対する関心を高めると共に、進路に向けての準備を行う。	⑬⑮	A	A			
			企業見学やインターンシップ等を実施することにより、体験的な進路指導を充実させると共に、社会人として必要なマナーの涵養を図る。	⑩⑭	A				
			進路指導部と連携して主体的に情報を収集できる環境を整えると共に、キャリアパスポートの利用、面談等を行い個々にあったきめ細かい指導を心がける。	⑭	B				
	第3学年	基本的生活習慣の確立と規範意識の育成を図る	SHR時の声かけ活動によって身だしなみに留意させ、最高学年として下級生の模範となるよう落ち着いた生活態度を身につけさせる。	⑨⑩	A	A	(基礎学力の向上を目指す) ・意欲のある生徒とそうではない生徒に対する働きかけ (進路実現を目指す) ・進路実現に向けてガイダンス、面接指導の充実を図ること ・特に専門学校進学希望者の学費関係で保護者との意思疎通が不足していたこと ・早期進路決定者（縁故、専門学校）の指導の課題 ・求人表のデジタル化によって検索が簡単にできる反面、条件の比較や他職種が見られないため、マッチングに不安が残った ・求人数が相当多いので、2社／1人より少し増やしてもよいのではないかと		
			個別面談を積極的に行うと共に、家庭との連絡を密に取り、生徒の学校生活状況を把握し、欠席・遅刻・早退の増加防止に努める。	⑧⑪	B				
			部活動や学校行事を通して協調性や社会性の向上を図り、充実感や達成感の得られる学校環境を醸成する。	⑯	A				
		基礎学力の向上を図る	毎日の朝学習課題に取り組ませ、問題を自ら解かせることで基礎・基本の定着と学習の定着を図る。	①④	B	B			
			資格取得へ積極的・継続的に参加する姿勢を育成する。	⑤	B				
		希望進路の実現を目指す	進路ガイダンスや面接指導、キャリアパスポート、インターンシップ等を活用し、主体的に進路活動に取り組む姿勢を持たせる。	⑭⑮	A	A			
			進路指導部と連携を図り、生徒一人一人に合ったきめ細かい進路指導を心がけ、早い段階で明確な目標を持たせるとともに、進路希望実現を果たす。	⑬⑮	A				

※評価基準 A：十分達成できている， B：達成できている， C：概ね達成できている， D：不十分である， E：できていない